

山梨近代人物館 第13回展示

# 海外との 懸け橋となつた人々



土屋 龍憲

浅川 伯教

浅川 巧

杉浦 讓

永峯 秀樹

埴原 正直

村岡 花子

内藤 多仲

早川 徳次



●入館の際には、庁舎入口での手指消毒および館入口での検温等、  
新型コロナウイルス感染拡大防止対策にご協力ください。

■展示期間/ **2021年4月1日(木)~2021年9月27日(月)**

- 開館時間 / 午前9時~午後5時(入館は4時30分まで)
- 休館日 / 毎月第2・第4火曜日(その他臨時に休館する場合があります)
- 入館料 / 無料
- 住所 / 甲府市丸の内一丁目6番1号 山梨県庁舎別館2階
- お問い合わせ / TEL 055-231-0988 FAX 055-231-0991  
<https://www.pref.yamanashi.jp/ykj/index.html>

Website

Facebook



◆写真提供/山梨県立博物館、北杜市浅川伯教・巧兄弟資料館、赤毛のアン記念館・村岡花子文庫、海上自衛隊第1術科学校、甲州市、個人蔵

# 山梨近代人物館

The Museum of

MODERN YAMANASHI HISTORICAL FIGURES

山梨県庁構内図 愛称:オープンガーデンやまなし



# 海外との懸け橋となった人々

山梨から海外に、そして海外から山梨に。わが国にとって「近代」という時代は、海外の国々との交流が拡大し、多くの文化がもたらされた時期でした。海外の文化や人との出会いは、当時のわが国の社会にどのような影響を与えていったのでしょうか。2回目のオリンピック・パラリンピック東京大会を迎える今年、山梨近代人物館では、海外との懸け橋となった山梨ゆかりの人々をご紹介します。

## 海外の文化に学ぶ

近代国家としてあゆみ始めたばかりのわが国は、海外の国々に早く追い付き追い越していくために、それら諸国のあらゆる技術や文化を貪欲に学んでいきました。そのなかで、官民間問わず多くの人材が欧米諸国に渡り、その貴重な体験と知識を当時の人々に伝えています。

## 社会や技術の発展

わが国でも都市や社会基盤の近代化が進み、また関東大震災において大都市の復興が目指されるなかで、建築や交通などより高度な技術やシステムの移入が図られました。現在でも私たちの社会を支える耐震建築や地下鉄などの都市交通の分野で、その実現と確立を果たしたのは山梨出身の人物たちでした。

「耐震建築の父」内藤多仲が設計した東京タワーの建設当時のパンフレット(個人蔵)



パリ万国博覧会へ渡った徳川昭武(中央に着座の人物、慶喜の弟)一行、後列右から5人目が甲府出身の杉浦讓、後列左端が渋沢栄一(『渋沢栄一滞仏日記』より)

## 相互理解に向けて

わが国の近代史のあゆみは、困難を極めた国際関係の積み重ねでもあり、悲しい歴史が横たわっているともいえます。相互の理解を欠いた時代のなかでありつつも、外交や芸術文化の立場から、海外とわが国をつなぐための懸け橋となった人物たちもいたのです。



手書きの注釈が生々しい、「地下鉄の父」早川徳次が海外の地下鉄の調査のために入手した倫敦・パリ・ベルリン・ニューヨークの地下鉄写真(個人蔵)



大韓民国ソウルの浅川巧墓地



埴原正直が外務次官として関わったポーランド人孤児の救済事業(『日本赤十字社五十年小史』より)

【展示で紹介する人物】杉浦讓、永峯秀樹、土屋龍憲、埴原正直、早川徳次、浅川伯教、内藤多仲、浅川巧、村岡花子(誕生順)

教育普及講座の開催

毎月1回程度、展示紹介人物についてより深く知っていただくための教育普及講座を開催いたします。講座のテーマについては、当館ホームページなどをご確認ください。

※新型コロナウイルス感染症予防対策として、タブレットなどの展示端末の使用を制限しており、一部の写真や資料の閲覧が出来ない場合があります。

# 山梨近代人物館

The Museum of  
MODERN YAMANASHI HISTORICAL FIGURES

甲府市丸の内一丁目6番1号 山梨県庁舎別館2階  
TEL 055-231-0988 FAX 055-231-0991  
<https://www.pref.yamanashi.jp/ykj/index.html>

JR中央線・身延線甲府駅南口徒歩5分  
乗用車の場合は、防災新館地下駐車場をご利用ください(駐車無料)

